

1. 目標	(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます		
とりまとめG	都市政策部 都市防災G	担当G	都市政策部 都市防災G 都市政策部 都市整備G 都市政策部 上下水道G

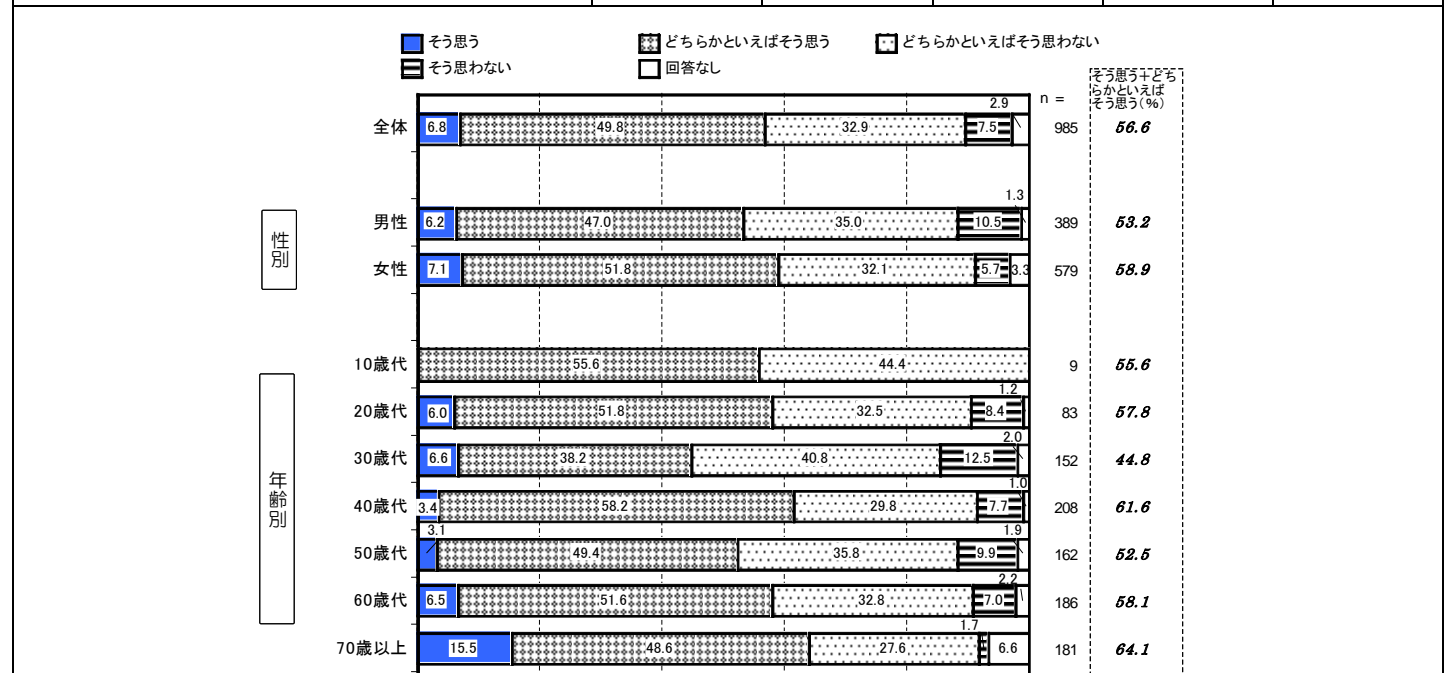
2. 目標が達成された姿
◇ 誰もが安心して安全だと感じながら暮らしています。 ◇ 防犯・防災意識が向上し、市民・地域・事業者・関係機関と連携して、防犯・防災活動に取り組んでいます。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—

目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度 評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) 地震の備えができていてと感じている人の割合	22.3%	22.5%	25.7%	24.7%	25%	
2) 街頭犯罪発生件数 (年間)	403 件	307 件	305 件	317 件	380 件	
3) 交通事故発生件数 (年間)	220 件	207 件	205 件	229 件	190 件	

4. 【CHECK】 市民意識調査結果

設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う	52.3%	49.7%	56.3%	56.6%	



5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ◆ 市民意識調査結果では、平成 23 年 3 月 11 日に甚大な被害をもたらした東日本大震災への関心や不安などの高まりもあり、H23 実績値では現状値よりも 2.6%低下したが、その後、自助意識の高まり等により、微増ではあるが、目標値に向かって推移した。
- ◆ 年代別の結果として、10 歳代の「そう思う」「どちらかというと思う」は、全体の値と比べて前期3年間を通じて常に下回っている。逆に 60 歳代や 70 歳以上では、常に上回っている。
- ◆ 今後、10 歳代など若年層を対象とした防災・防犯対策が必要である。

(前期) 施策評価シート

6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)				
アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.39】 危機管理体制強化事業	現行 どおり	自主防災会への支援活動回数	30回	30回
		防災講演会の開催回数	10回	10回
【No.40】防災ネットワーク 推進事業	改善 (進捗状況)	災害協定締結数	3件	3件
		ネットワーク参加団体数	9団体	10団体
【No.41】 交通安全啓発事業	現行 どおり	交通事故発生件数(年間)	229件	190件
		安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている人の割合	56.6%	—
【No.42】防犯対策推進事業	現行 どおり	街頭犯罪発生件数(年間)	317件	380件
		安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思っている人の割合	56.6%	—
【No.43】 耐震改修促進事業	現行 どおり	耐震診断の周知回数	8回	8回
		耐震診断実施件数	802件	982件
【No.44】 河川改修整備事業	現行 どおり	河川改修事業の進捗率(単年度進捗率)	10%	10%
		河川改修事業の進捗率(全体事業計画の進捗率)	100%	100%
【No.45】 公共下水道事業(雨水)	現行 どおり	雨水管の整備面積	14ha	1.8ha
		雨水管整備率	69.2%	69.9%

7. 【CHECK】これまでの主な取組みと成果

- 【No.39】平成23年度に市業務継続計画(BCP)素案を策定し、平成24年度には市総合防災訓練と職員非常召集訓練を実施し、併せて業務継続計画(BCP)の検証訓練を実施した。津波避難対策として、同報系防災行政無線(屋外拡声器)を整備を行った。平成25年度には、新メールシステムにて防災情報を提供した。防災ラジオの有償配布を行った。
- 【No.40】まちづくり協議会、町内会、企業などが参加した「防災ネットきずこう会」を立ち上げ、地域防災ネットワークの構築に向けた検討を始め、地域活動計画を策定した。また、市民会議と協力し、「標高の見える化」を実施するとともに、まちづくり協議会で新たな地域の防災体制の検討が開始された。
- 【No.41】交通安全教室や交通指導を実施した。平成24年度では、高浜市交通安全条例に、「高齢者の交通事故防止」、「飲酒運転の根絶」の事項を追加する条例改正を行った。
- 【No.42】まちづくり協議会の青色防犯灯パトロールによる市内巡回など、防犯活動を実施した。また、市の点検や市民・地域からの通報を受け、防犯灯や交通安全施設の修繕を実施した。
- 【No.43】無料耐震診断や木造住宅耐震改修費補助金制度の周知・啓発に努めた。各小学校に高浜市建築耐震研究会と耐震出前講座を開催し、地震の恐ろしさや住宅の耐震の必要性についての啓発を実施した。
- 【No.44】法響橋～前橋までの区間については、平成23年度末に整備が終わり、関連する事業として前橋の改修が進められた。前橋～小橋までの区間については、平成23年度に着手し、平成24年度に護岸整備が完了した。小橋～中根橋までの一部区間の護岸工事が進められた。
- 【No.45】下水道計画区域面積は890haで計画的に整備を行った。平成25年度末で時間雨量50mm程度の降雨に対し浸水防除できる管きよの整備済み面積は約616haで、整備率は69.2%となった。

8. 【CHECK】【ACTION】課題と今後の取組みの方向性

- (1) 防災に対する意識改革
震災後3日間を重点項目とした自主防災組織を構築する必要がある。また、自助意識を高め、いざという時に行動できる力を高める必要がある。そのため、防災ネットきずこう会の活動と合わせ、モデル地区を設定し、地域の特性に応じた総合防災訓練を実施する。さらに、地域防災力向上に向けて、座学だけでなく、HUG、クロスロード、被災地視察など、様々な手法により実践力を高める取組みを進める。
- (2) 防災教育の推進
教育委員会と防災担当部局が連携して、小中学校での防災教育の推進や学校防災について検討・調整を進める。
- (3) 地域防犯力を高める取組み
地域や警察等と連携しながら、防犯教室や防犯情報の発信などにより、自助意識を高め、防犯パトロールやあいさつ運動、登下校の見守り等を行う。
- (4) 標高の「見える化」、インフラ整備
コンビニ、医療機関等不特定多数の方が利用する施設など、引き続き設置希望者に標高サインの設置を依頼・配布する。関係機関と調整を図り、計画的にインフラ整備を進める。

9. 【CHECK】第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果

- ・いずれ災害は必ず来る。高浜市は最新の被害想定によると人口に対する死者が0.65%、世帯数に対しての建物全壊・消失は29.4%である。しかし、事前準備をある程度やっておけば必ず減災効果が出る。行政だけでなく、市民も危機管理意識を持つ必要がある。
- ・防災キャンプ実施時に「学校に避難しても車椅子の人はトイレに行けない」という意見があった。高齢化問題等を考えると、そういった意識・配慮も防災力の一つとして高めていくことも検討していただきたい。
- ・犯罪や災害などに対する体感不安が高まっている。防犯効果や安全・安心感は、地道な活動によって高まっていく。また、予算面の問題はありますが防犯カメラの設置についても、地域と相談しながら設置を検討してはどうかと考える。

